

令和7年度宮崎県献血推進協議会

会 議 資 料

宮崎県福祉保健部
薬務感染症対策課
薬 務 対 策 室

第1 令和7年度宮崎県献血事業推進状況

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年法律第160号)の趣旨を踏まえ、年間を通じ、血液を過不足なく供給するため、市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと一体となって、献血を推進するとともに、献血運動の普及を図るため各種事業を実施した。

1 献血の状況

(1) 献血者数

令和7年度の献血者見込み数は40,482人であり、本年度献血目標41,448人に対する達成率は97.7%となる。

献血者数

	全血献血		成分献血		計
	200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	
目標 (人)	105	28,520	4,350	8,473	41,448
見込み (人)	333	27,467	4,453	8,229	40,482
達成率 (%)	317.1	96.3	102.4	97.1	97.7

(2) 受入施設別献血者数

献血ルーム「カリーノ」及び移動献血車(バス)の献血者見込み数は次のとおりである。

受入施設別献血者数

		全血献血		成分献血		計
		200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	
献血ルーム 「カリーノ」	目標 (人)	105	6,734	4,350	8,473	19,662
	見込み (人)	300	6,564	4,453	8,229	19,546
	達成率 (%)	285.7	97.5	102.4	97.1	99.4
移動献血車	目標 (人)	-	21,786	-	-	21,786
	見込み (人)	33	20,903	-	-	20,936
	達成率 (%)	-	95.9	-	-	96.1

2 血液製剤の供給状況等

(1) 輸血用血液製剤

医療機関の需要に応じ供給する赤血球製剤等の輸血用血液製剤は 145,150 単位となる見込みである。

輸血用血液製剤の供給量

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
計画（単位）	60,621	17,055	66,430	144,106
見込み（単位）	58,334	17,606	69,210	145,150
計画比（%）	96.2	103.2	104.2	100.7

※「1 単位」とは、200mL 全血採血に相当する量

(2) 原料血漿の確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿の確保量は九州ブロック全体で 144,676 L となる見込みである。

原料血漿の確保量

	原料血漿量
確保目標量（L）	143,957
確保見込み（L）	144,676
達成率（%）	100.5

3 献血推進事業実施状況

献血事業を推進するため、「みやざき愛の献血運動」を核として、次の事業を行った。
また、11月に「みやざき愛の献血運動推進県民大会」を開催した。

(1) 広報啓発活動・献血運動推進大会等

実施事業名	事業内容
400mL 献血・成分献血の推進	【実施時期】 通年 ○ 年間を通し、400mL 献血及び成分献血を推進 ○ 赤十字奉仕団による献血啓発、献血の呼びかけ
献血協力者確保等推進事業	【実施時期】 通年 ○ 年間複数回献血の推進、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の登録推進 ○ 県内企業・団体等に協力依頼文書を発出 ○ 献血サポーター事業の推進 ○ 若年層対策：宮崎県版献血パンフレット作成・配布 ○ 輸血用血液製剤の適正使用推進
町、総ぐるみ献血参加運動	【実施時期】 通年 ○ 献血者確保対策の一環として市町村単位で実施 献血実績（令和7年4月～12月） 実施数：3回 移動献血車5台稼働 献血者：400mL 226人
高校での献血と触れ合う機会の推進	【実施時期】 通年 ○ 県立校長会での協力依頼（令和7年4月） ○ 県内の高校に協力依頼文書を発出 ○ 高校生を対象とした献血セミナー 実施数及び対象者数（令和7年4月～12月） 5回 536人 ○ 高校献血 献血実績（令和7年4月～12月） 献血者：400mL 131人（6校6回）
「こいのぼり献血」キャンペーンイベント	【実施時期】 5月 ○ 宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけと SNS による情報発信 宮崎県立看護大学（5月17日） 献血者：400mL 26人

実施事業名	事業内容
愛の血液助け合い運動	<p>【実施時期】 令和7年7月1日～31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「献血でつなぐ 命のリレー」懸垂幕掲示（県庁） ○ 「県政けいじばん」による広告 ○ SNS、県政番組による情報発信 ○ 宮崎県産業資源循環協会「愛の血液助け合い運動」PR車両出発式（7月1日） ○ サマー献血キャンペーン 宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけとSNSによる情報発信 トライアル西都店（7月12日） 献血者：400mL 35人 トライアル小林店（7月13日） 献血者：400mL 34人
令和7年度みやざき愛の献血運動推進県民大会	<p>【実施時期】 令和7年11月14日</p> <p>【場 所】 メディキット県民文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厚生労働大臣表彰、宮崎県知事感謝状、日本赤十字社有功章、日本赤十字社宮崎県支部長感謝状贈呈 ○ 参加者数：約200人
「クリスマス献血」キャンペーン	<p>【実施時期】 12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎県学生献血推進協議会会員による献血の呼びかけとSNSによる情報発信 ①献血ルーム・カリーノ（12月20日） 献血者：200mL 3人、400mL 30人 血小板 15人、血漿 38人 ②献血ルーム・カリーノ（12月21日） 献血者：200mL 6人、400mL 38人 血小板 13人、血漿 41人 ③献血ルーム・カリーノ（12月25日） 献血者：200mL 2人、400mL 28人 血小板 14人、血漿 23人 献血ルーム・カリーノ（12月26日） 献血者：200mL 5人、400mL 29人 血小板 12人、血漿 16人
「はたちの献血」キャンペーン	<p>【実施時期】 令和8年1月1日～2月28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「誰かの明日を考える。はたちの献血」懸垂幕掲示 ○ 「県政けいじばん」による広告 ○ 宮日広告誌「きゅんと」 ○ SNS、県政番組による情報発信 ○ 初詣献血（1月2日、3日） 宮崎神宮（宮崎市）、神柱宮（都城市） 献血者：200mL 5人 400mL 170人

(2) 会議・研修会の開催

会議・研修会名	事業内容
ライオンズクラブ 献血推進セミナー	【実施時期】 令和7年10月4日 【場所】 宮崎国際大学
宮崎県・鹿児島県学生 献血推進協議会合同研 修会	【実施時期】 令和7年11月1日～3日 【場所】 鹿児島県霧島市 鹿児島県立霧島自然ふれあいセンター 参加学生：宮崎県10名、鹿児島県14名
宮崎県輸血懇話会	【実施時期】 令和7年9月27日 【場所】 宮崎県企業局 県電ホール
宮崎県合同輸血療法 委員会研修会	【実施時期】 令和8年1月24日 【場所】 宮崎県防災庁舎
令和7年度宮崎県 献血推進協議会	【実施時期】 令和8年2月 ○令和7年度献血事業推進状況について ○令和8年度宮崎県献血推進計画(案)について
各保健所地区 献血推進連絡協議会	【実施時期】 (予定) ○ 中央保健所 令和8年2月17日 ○ 日南保健所 2月13日 ○ 都城保健所 2月16日 ○ 小林保健所 2月19日 ○ 高鍋保健所 2月18日 ○ 日向保健所 3月9日 ○ 延岡保健所 3月18日 ○ 高千穂保健所 2月25日

(3) 血液検査成績通知サービスの実施

日本赤十字社では、生化学検査成績（7項目）及び血球計数検査成績（8項目）について、通知を希望された方への通知サービス（親展での郵送）を実施した。

なお、ラブラッド会員については、この血液検査成績をウェブ上で閲覧することが可能となっている。

第2 令和8年度宮崎県献血推進計画(案)

本計画は、平成15年7月30日に施行された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(昭和31年法律第160号)(「以下「法」という。)第10条第5項の規定に基づき定める令和8年度の献血の推進に関する計画である。

本計画は、令和8年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標並びに目標を確保するために必要な措置に関する事項について定める。

1 令和8年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標

本県の輸血用血液製剤の需要見込み及び、国から割り当てられた原料血漿確保目標量等を考慮し、令和8年度に確保すべき血液製剤の供給、献血者数、血液量の目標を定める。

(1) 血液製剤の供給計画

ア 輸血用血液製剤

過去3年間と令和7年度の供給状況等を勘案し、令和8年度の輸血用血液製剤の供給を146,614単位とする。

輸血用血液製剤の供給計画及び実績(単位)

		赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和8年度	計画	59,912	17,592	69,110	146,614
令和7年度	見込み	58,334	17,606	69,210	145,150
	計画	60,621	17,055	66,430	144,106
令和6年度	実績	61,746	19,330	69,005	150,081
	計画	55,798	15,992	65,300	137,090

イ 原料血漿確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿確保量は、国から割り当てられた目標量を九州ブロックで144,109Lとする。

原料血漿確保目標量及び実績

		原料血漿(L)
令和8年度	目標量	144,109
令和7年度	見込み	144,676
	目標量	143,957
令和6年度	実績	143,727
	目標量	142,818

(2) 献血者の目標数

ア 献血者数

令和8年度の献血者の目標数は、41,321人とする。

献血者数の目標及び実績

		全血献血		成分献血		合計
		200mL献血	400mL献血	血小板	血漿	
令和8年度(人)	目標	123	28,238	4,367	8,593	41,321
令和7年度(人)	見込み	333	27,467	4,453	8,229	40,482
	目標	105	28,520	4,350	8,473	41,448
令和6年度(人)	実績	207	26,705	4,454	7,366	38,732
	目標	105	28,920	4,519	8,310	41,854

イ 受入施設別献血者数

受入施設別献血者数の目標及び実績

		献血ルーム 「カーリーノ」	移動献血車※	合計
令和8年度(人)	目標	19,691	21,630	41,321
令和7年度(人)	見込み	19,546	20,936	40,482
	目標	19,662	21,786	41,448
令和6年度(人)	実績	18,249	20,483	38,732
	目標	19,654	22,200	41,854

※移動献血車(バス)による市町村別献血者数

移動献血車(バス)を円滑に受け入れるため、地域の実情に応じ、市町村ごとに市町村別献血計画を策定する(8ページ)。

(3) 血液の目標量

献血者から得られる血液の目標量は、全血献血により11,320L、成分献血により7,384L(血小板献血2,458L、血漿献血4,926L)の18,704Lとなる。

令和8年度血液の目標量(L)

全血献血		成分献血		合計
200mL	400mL	血小板	血漿	
25	11,295	2,458	4,926	18,704

令和8年度 宮崎県市町村月別配車計画（案）

保健所	市町村	目標数（人）				配車数（台）												
		200mL	400mL	成分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
中央	宮崎市	0	6,125	0	6,125	15.5	14	10.5	11	10	12	11.5	10	11	14	6.5	7	133
	国富町	0	250	0	250	0.5		1.5				1.5				1.5		5
	綾町	0	150	0	150			1				1				1		3
	計	0	6,525	0	6,525	16	14	13	11	10	12	14	10	11	14	9	7	141
日南	日南市	0	940	0	940	2	2	2		2	3		2	2	2	1	2	20
	串間市	0	290	0	290				2				2			1	2	7
	計	0	1,230	0	1,230	2	2	2	2	2	3	0	4	2	2	2	4	27
都城	都城市	0	4,765	0	4,765	8	10	6	8	9	10	10	8.5	9.5	9	9	8	105
	三股町	0	365	0	365	1		1	1			1	1.5	0.5		1	1	8
	計	0	5,130	0	5,130	9	10	7	9	9	10	11	10	10	9	10	9	113
小林	小林市	0	950	0	950		2	2	3	3	2	1		3	2	2	2	22
	えびの市	0	410	0	410	1		2	1			1	1	1		1	1	9
	高原町	0	190	0	190				1			1		1			1	4
	計	0	1,550	0	1,550	1	2	4	5	3	2	3	1	5	2	3	4	35
高鍋	西都市	0	490	0	490	1		1	1	1		1	1	1	1	1.5	1	10.5
	高鍋町	0	600	0	600		2	1.5	2	1		2	1	2		1.5	1	14
	新富町	0	460	0	460		1	1	2		1		1		2	0.5	2	10.5
	西米良村	0	80	0	80							1					1	2
	木城町	0	70	0	70			0.5			0.5					0.5		1.5
	川南町	0	300	0	300				1	2	0.5		1	1	1		1	7.5
	都農町	0	100	0	100					1						1		2
	計	0	2,100	0	2,100	1	3	4	6	5	2	4	4	4	4	5	6	48
日向	日向市	0	1,280	0	1,280	2.5	3.5	2	2	3	3	3	1	3	3.5	2	1	29.5
	門川町	0	280	0	280	0.5	0.5	1			0.5	1	1		0.5	1	1	7
	諸塚村	0	70	0	70						1					1		2
	椎葉村	0	70	0	70			1					1					2
	美郷町	0	110	0	110				1				1			1		3
	計	0	1,810	0	1,810	3	4	4	3	3	4.5	4	4	3	4	5	2	43.5
延岡	延岡市	0	2,850	0	2,850	8	4	6	5	4	6.5	4	7	6	5	3	4	62.5
	計	0	2,850	0	2,850	8	4	6	5	4	7	4	7	6	5	3	4	62.5
高千穂	高千穂町	0	275	0	275		1			2			1				2	6
	日之影町	0	80	0	80					1							1	2
	五ヶ瀬町	0	80	0	80					1							1	2
	計	0	435	0	435	0	1	0	0	4	0	0	1	0	0	0	4	10
移動献血車計		0	21,630	0	21,630	40	40	40	41	40	40	40	41	41	40	37	40	480
献血ルーム		123	6,608	12,960	19,691	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
合計		123	28,238	12,960	41,321	70	71	70	72	71	70	71	71	71	70	65	71	843

2 目標を確保するために必要な措置に関する事項

県は市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと協力し、献血について県民の理解を深めるため、普及啓発活動及び献血運動推進県民大会の開催等の具体的な事業を実施する。

献血の推進に当たっては、学生献血推進協議会等と連携しながら若年層への理解と協力を求めるため、各般の事業を展開する。

(1) 普及啓発活動の実施

ア	献血会場等における成分献血、400mL 献血の推進 ○赤十字奉仕団、学生献血推進協議会による呼びかけ
イ	町、総ぐるみ献血参加運動
ウ	複数回献血、成分献血確保対策 ○献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録促進
エ	高校での献血と触れ合う機会の推進 ○献血セミナーの実施 ○学校献血の実施
オ	全国統一キャンペーン ○こいのぼり献血（学生献血推進協議会） ○愛の血液助け合い運動 ○クリスマス献血（学生献血推進協議会） ○はたちの献血
カ	中学生用啓発ポスター、高校生啓発テキストの配布

(2) 献血運動推進県民大会の開催

令和 8 年度みやざき愛の献血運動推進県民大会の実施

(3) 献血体制の推進

ア	会議・研修会の開催 ○ライオンズクラブ献血推進セミナー ○宮崎県輸血懇話会 ○宮崎県合同輸血療法委員会研修会 ○令和 8 年度宮崎県献血推進協議会 ○各保健所献血推進連絡協議会
イ	血液検査成績通知サービスの実施